

Monthly Report

2017年11月号

特集

「ヘッドライトは
早めに点灯」

日の暮れる時間帯は「薄暮時」と言われ、日没時間と重なり重大事故が多く発生しています。

特に、秋から冬にかけてのこの時期は、日没の時刻が年間で最も早まることもあり、同じ薄暮時でも他の時期に比べ、重大事故の発生が著しく増加しています。

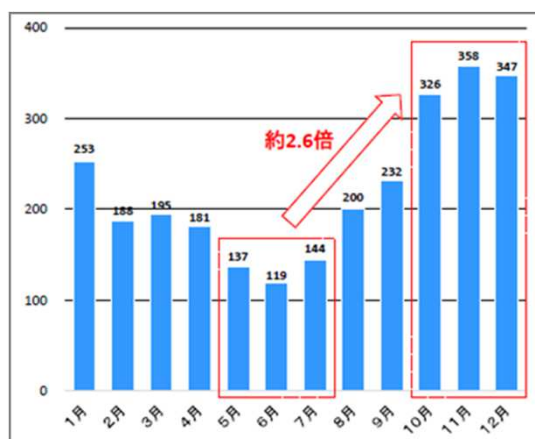
薄暮時の事故対策として「早めのヘッドライト点灯」が有効ですので、今回はこの正しいやり方についてご紹介します。



1. 薄暮時は交通事故が多発する

薄暮時は、買い物や帰りを急ぐ人など多くの人が道路を利用することもあり、交通事故が最も多く発生する時間帯です。特に日没時刻が早まる10月以降は、この時間帯に、重大事故が多発する傾向があります。

＜薄暮時間帯の月別死亡事故件数※＞



※月別の薄暮時間帯における死亡事故件数
(平成24年～28年) 合計2,680件

※警察庁「平成29年上半年における交通死亡事故
の特徴等について」

http://www.npa.go.jp/publications/statistics/koutsuu/H29_kamihannki.pdf (2017.10.12閲覧)

薄暮時には、人の視覚機能の限界から、目の調整がうまくできずに視認性が低下することが指摘されています。従いまして「早めのヘッドライト点灯」はドライバーや歩行者双方にとって有効な対策となります。



SOMPO ホールディングス
損保ジャパン日本興亜

2. 意識と実態

ある調査では、「早めのライト点灯を実践していますか」とのアンケートに対し、「実践している」と回答した人は全体の80.7%ありましたが、その中できちんとヘッドライトを点灯しているのは約40%に過ぎず、スモールランプやフォグランプの点灯が多数を占める結果でありました。

※JAF交通安全情報サイト (http://www.jaf.or.jp/eco-safety/safety_light/enquete/index.html) (2017.10.12閲覧)

実際にはどの程度「早めの点灯は」実践されているのでしょうか？

■路上調査

今回、路上調査を行った結果は次の通りで、やはりヘッドライトの点灯は多くはありませんでした。

車両総数	ヘッドライト点灯車両数
100台	26台

※調査条件

○場所：東京都新宿区

○日時：10月11日 PM4：00頃

○天候：曇天で暗め

3. ヘッドライトは早めに点灯

ヘッドライトはどのように点灯するのが事故防止に効果的なのでしょうか？
早めのヘッドライト点灯を難しくしている要因として、点灯の判断基準が分かり難いという点がありますので、その目安をご紹介します。

■いつ点灯するか？

○日没の30分より前を目安に点灯するのが、早期点灯のタイミングです。

○気象条件、道路環境により視認性は差がありますので、周囲の状況に十分注意し状況に応じて積極的に点灯しましょう。

※オートライト機能は、正しく活用しましょう。

■点灯について

○点灯するのはヘッドライトです。道路交通法（第52条）でも「前照灯」（ヘッドライト）の点灯を規程しています。スモールランプなどではありません。

○スモールランプなどを点灯しても、歩行者から見て死角にある車両のライトは見えないことや、日没後もスモールランプのまま走行してしまうなどのリスクがありますので、早期点灯するのはヘッドライトにしましょう。



SOMPO ホールディングス

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、

「お・も・い・や・り」のある運転を！

みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス（株）一同